

里芋品種のシノニムについて

松 田 榮

九州農業試験場

Matsuda, S. On the synonym of taro varieties.

1. 緒言 本邦の里芋は極めて多くの品種名をもつて呼ばれているに拘らず、これのシノニムに関する研究がないので、かねて蒐集せる国内及び台湾の品種並に中国本土、南洋方面より入手した品種につき分類に関する研究を進めている。細部に亘つては尙疑問の点が残っているので、未だ正式の発表は行われていないが、里芋品種取扱いの基本問題であるから、現在迄に得られた結果を報告する次第である。

2. 供試材料並に調査方法 供試品種は総計205点に及んでいるが、その中国内の品種は二宮種苗育地、久留米九州支場に於て蒐集したものである。台湾の品種は熊沢三郎氏及び赤城勘一氏が台北州農事試験場に於て広く蕃界に及んで蒐集したものであり、品種番号78, 79, 80は田中諭一郎氏の取寄せられたものである。中国本土の品種中55, 56, 57, 63, 102, 125は大谷光瑞氏が取寄せられ、又南方の品種147は玉利率次郎氏が取寄せられ、その他は熊沢三郎氏が取寄せたものである。これ等蒐集品種を種苗育成地及び九州支場に於て試作し、シノニムの整理を行つたものである。

本調査に於ては別表の通り本邦品種に共通的な変異形質を取上げると共に、更に系統の整理に必要な草高、早晚性、子芋の型、着色等を用いた。

3. シノニムの整理 第1表の如き諸形質については全品種を調査せる結果1, 2表に見る如く22品種39系統(1品種1系統のものは1系統として算入)に整理することが出来た。特性の表示に用いた形質は次の通りである。

1) 草姿は葉梢上部に於ける屈折度、葉柄頸部の屈曲度、葉の重さに依る葉柄の彎曲度によつて表わされるものであるが、表示には一応総合的に、直立性、稍直立性、稍開張性、開張性、開張性大の5階級に分ち、八ツ頭の如き特徴あるものに対しては叢性として區別した。

2) 草高については極低、低、中、稍高、高、極高の6階級とした。

3) 地上部の色は葉緑の濃淡により淡緑、緑、中緑、濃緑の4階級に區別し、葉柄のアントキアン着色には唐芋や八ツ頭の様に赤褐色のものや、烏播、黒軸の様な黒褐色のものや、紅檳榔心の様に鮮廉な濃赤紫色のものもあるが、着色程度により、なし、極少、中、多、極多の6階級とした。又葉柄頸部アントキアン着色は何れも淡赤褐色であるが、濃度及び分布範囲がことなるので、濃度については、なし、極少、少、多とし、分布については、なし、短、中、長に分けた。

4) 芋形の區別については、明瞭に表示することの困難な場合もあるが、丸、稍長、細長、極細長、稍円筒形、円筒形等に分けた。

5) 子芋の着生状態或は利用部は実用分類上重要であるばかりでなく、植物学的分類上にも重要な標徴となるもので *Colo casia Esculenta* の品種分類上には最も重んずべき形質であるから、之により1, 2, 3, 4は子芋用種、5, 6, 7, 8, 9, 10, 11は親芋用種、12, 13, 14, 15, 16, 17は葉柄用種に分ち配列した。

4. 考察 品種については極めて多くの名称が引いられているが、供試総点数205点は22品種に整理することが出来る。此の中古来種は子芋用5、親芋用7、水芋用3、計15品種となり、熱帯地方に比し子に用種が多く、親芋用、水芋用が少く、又子芋用種芋は土垂、石川早生に見る通り、極めて多くのシノニムが引られる。之は本邦の生育期間の短い環境に於て早生種が特に適生した事を示すものである。

これらの品種分布について見るに土垂に於ては北京、南京、上海、奉化の品種も之に属し、台湾に於ても極めて多くの点数を入手している。蓮葉芋は奉化のNo. 125も之に属し、又台湾よりも多数の品種を入手している。又赤芋は南洋に、唐芋は台湾に、又蕨芋は奉化にあることが明かになり、黒軸は朝鮮や中支にあることが明かであり、八ツ頭も中国にあるものと共通である。

これら品種の伝播は極めて古代に行われたものと思

第 1 表

里 芋 の 品 種 並

標準品種名	系 統 名	草 姿	草 高	地上部色	葉柄アントキアン着色	葉柄頸部色 アントキアン
1 石川早生	石川早生丸長	直 立	低 低	淡 緑	極 少	極長, 多
2 土 垂	早生丸長土垂	開 張	低 低		淡 緑	ナ シ
3 蓮 葉 芋	小 蓮 葉 芋	開 張	低 低	中 緑	ナ シ	短, 少
4 黒 軸	黒水戸黒軸播藩	稍直立	低 中		中 緑	多 多
5 赤 芽	赤太青莖赤芽	直 立	高 高	淡 緑	中 シ	長, 多
6 唐 芋	唐 莖 唐 芋	稍直立	中 高		淡 緑	極 少
7 眞 芋	女 芋 頭	直 立	極 高	淡 緑	中	下部ト連絡
8 女 芋	女 芋 頭	直 立	極 高		淡 緑	少 シ
9 檳榔心	八ツ頭	稍開張	中	中 緑	ナ シ	長, 多
10 八ツ頭	八ツ頭	叢 生	低 低		淡 緑	多 少
11 巽 芋		叢 生	低	淡 緑	少	短, 少
12 棋 山 芋		稍開張	中	中 緑	ナ シ	長, 多
13 水 芋	台 湾 水 芋	直 立	高	中 緑	ナ シ	長, 多
14 ミガシキ	ミガシキ 芋	直 立	中 高	中 緑	少	長, 少
15 ロフト藩		直 立	中	緑	ナ シ	長, 少
16 赤 口		直 立	中	中 緑	ナ シ	短, 少
17 紅檳榔心		直 立	中	中 緑	極 多	下部ト連絡
18 蕨 芋		開 張	中	濃 緑	ナ シ	長, 少
19 沖繩青莖		開 張	中	緑	ナ シ	ナ シ
20 筍 芋		稍開張	中	濃 緑	ナ シ	長, 多
21 蓮 芋		開張大	中	淡黄緑	ナ シ	ナ シ
22 ヤウテヤ		開張極大	高	淡黄緑	ナ シ	ナ シ

第 2 表

本邦に於ける Aroid crop の品種並に系統

①

標準品種名	系統名	同 種 異 名
1 石川早生	石川早生丸 石川早生長	1 石川早生(東京), 2 石川早生 4 号(岐阜), 3 石川早生系 7 (鹿兒島), 4 熊本石川早生(岐阜), 5 熊野早生(滋賀), 6 瀧川(滋賀), 7 樞掛芋(奈良), 8 甲州早生(埼玉), 9 文久早生(福岡), 10 白葉京芋(兵庫), 11 京芋 13(鳥取), 12 愛媛早生(宮崎), 13 鈴芋(岡山), 14 丸子芋(富山), 15 栗田(埼玉), 16 深芋(岐阜), 17 高座芋親(神奈川), 18 浅木(岐阜), 19 石川早生(關西), 20 日田早生(大分). 21 富岡早生(岐阜), 22 親貴(廣島), 23 鶴の子(熊本), 24 高座早生(神奈川), 25 神玉(山口), 26 京早生 3 号(兵庫), 27 東京早生(富山), 28 早生一本(千葉), 29 在來晩生(), 30 八幡芋(岐阜).
2 土 垂	早生丸土垂 早生長土垂 中生丸土垂 中生長土垂 晩生丸土垂 晩生長土垂	31 吉野芋(長野), 32 六月芋(群馬), 33 土垂(東京), 34 土垂(栃木), 35 早生土垂(千葉), 36 早生土垂(廣島), 37 大和(廣島), 38 廣島芋(廣島), 39 早生丸(栃木), 40 早生芋(廣島), 41 井桁早生(岐阜), 42 六月 10 号(富山), 43 白芋(岐阜), 44 愛知早生(栃木), 45 白鳥(岐阜), 46 豊後(東京), 47 熊野(千葉), 48 ジラ(台湾), 49 ピヤナン社 コマイカル(台湾). 50 鉄砲芋(富山), 51 赤山芋(埼玉), 52 早生芋(), 53 大阪泉南種(大阪), 54 龍高パーラン社(台湾), 55 北京 204(中國), 56 南京 A(中國), 57 上海 B(中國). 58 京都早生(富山), 59 白早生芋(和歌山), 60 小姫(山形), 61 寒残り(岐阜), 62 大森前ラハツ社(台湾), 63 北京 A 114(中國), 64 文山郡ラハツ社(台湾). 65 土垂(群馬), 66 八重蔵(栃木), 67 蓮葉芋(埼玉), 68 傳燈芋(石川), 69 親貴(岐阜), 70 高雄 1 号(台湾). 71 二宮 18 号(神奈川), 72 早生真芋(岐阜), 73 中生土垂(千葉), 74 白芋晩生(), 75 三保早生(岐阜), 76 白芋早生(), 77 白芋早生(熊本), 78 田中氏 No.1(台湾), 79 田中氏 No.2(台湾), 田中氏 No.3(台湾), 81 ガオガン蕃社(台湾), 82 チヤマサイ(台湾), 83 黒龍支廳取入口(台湾). 84 三州(群馬), 85 坂本在來(岐阜), 86 上座芋(岐阜), 87 中生真芋(), 88 興五郎芋(岐阜), 89 御厨(長野), 90 鶴の子(大分), 91 丹蕃(台湾), 92 シカミ芋(台湾), 93 群蕃(台湾), 94 南澳 ロツポエム(台湾), 95 南澳キテス社(台湾), 96 大武支廳タバカラ社(台湾), 97 大武支廳ツダカス社(台湾), 文山郡(台湾), 99 ボクウラ社(台湾), 100 東勢郡雲山杭社(台湾), 101 黒龍支廳タダワン社(台湾), 102 奉化種 A(中國).
3 蓮葉芋	小蓮葉芋 大蓮葉芋	103 蓮葉芋(神奈川), 104 蓮芋(三重), 105 衣被(京都), 106 石川早生(廣島), 107 石川早生(千葉), 108 水芋(廣島), 109 草深芋(宮崎), 110 八幡芋(廣島), 111 静岡早生(静岡), 112 女早生(静岡), 113 文化学(兵庫), 114 彌市(神奈川), 115 黄芋(岐阜), 116 遠州(岐阜), 117 遠州(兵庫), 118 笹倉(大分), 119 日田 1 号(大分), 120 白芋(台湾). 121 大土垂(千葉), 122 新郷土垂(埼玉), 123 安行水芋(埼玉), 124 蓮芋(), 125 奉化種 B(中國), 126 台湾白(台湾).
4 黒 軸	黒 軸 水戸黒柄 烏 播 大 湖 蕃	127 黒軸(徳島), 128 早生赤芋(静岡), 129 赤稈(岩手), 130 赤ズイキ(石川), 131 朝鮮(朝鮮). 132 水戸黒柄(茨城). 133 烏播(千葉), 134 烏播(台湾). 135 大湖蕃 マバトワソ社(台湾), 136 大湖蕃 タバライ社(台湾), 137 大湖郡北勢蕃 マビルハ社(台湾).
5 赤 芽	赤 芽 太 青	138 赤芽(千葉), 139 赤芽系 5 (鹿兒島), 140 高知赤芽(高知), 141 鬼赤(岐阜), 142 大野芋(大分), 143 都芋(岐阜), 144 赤芽(大分), 145 赤芽(福岡), 146 沖繩芋(沖縄). 147 太青(セレベス).

第2表

本邦に於ける Aroid crop の品種並に系統

②

標準品種名	系統名	同 種 異 名
	白茎赤芽 青茎赤芽	148赤芽系3(鹿兒島). 149マバウंगाミューロー(台湾).
5 唐 芋	唐 芋 白茎唐芋	150唐芋(神奈川), 151唐芋(茨城), 152海老芋(愛知), 153樋口(岐阜), 154猿芋(宮崎), 155ボドウ芋(福岡), 156麴芋(台湾), 159高雄2号(台湾). 158白茎海老芋(静岡), 159山形田芋(山形).
7 眞 芋		160眞芋(和歌山).
8 女 芋	女 芋 白 頭	161女芋(静岡), 162吉浜芋(神奈川). 163白頭(福岡), 164大頭(福岡), 165白頭(宮崎).
9 檳榔心		166檳榔心(台湾).
10 ハツ頭	ハツ頭 白茎ハツ頭	167ハツ頭(廣島), 168ハツ頭(茨城), 169ハツ頭(福岡). 170白茎ハツ頭(埼玉), 171ハツ頭(大分), 172白茎ハツ頭(福岡).
11 薑 芋		173薑芋(愛媛).
12 棋山芋		174棋山郡マスホツル社(台湾)6, 175棋山郡リキリキ社(台湾).
13 水 芋	台湾水芋	176台湾水芋(台湾).
14 ミガシキ	ミガシキ 溝 芋	177ミガシキ(鹿兒島). 178溝芋(岡山).
15 ロフト蕃		179ロフト蕃(台湾).
16 赤 口		180赤口(琉球).
17 紅檳榔心		181紅檳榔心(台湾).
18 蕨 芋		182蕨芋(廣島), 183稻橋在來(岐阜), 184田雲麻治(岐阜), 185田雲伊波野多(岐阜), 186ドベ芋(宮崎), 187河ズイキ(三重), 188河内芋(鳥取), 189紀州芋(奈良), 190島芋(東京), 191美作芋(岡山), 192京都2号(愛知), 193粟芋(和歌山), 194太芋(宮城), 195振草(愛知), 196天王(京都), 197團子芋(岐阜), 198盆芋(), 199青芋(東京), 200小島(大分), 201奉化種(上海).
19 沖繩青茎		202沖繩青茎(沖繩).
20 筍 芋		203台湾芋(筍芋)(宮崎).

第 2 表

本邦に於ける Aroid crop の品種並に系統

③

標準品種名	系統名	同 種 異 名
21 蓮 芋		204蓮芋(福岡).
22 ヤウテヤ		205ヤウテヤ(東京).

われるに拘らず、かゝる遠隔地に於ける現存品種が全く同一の遺伝性を示しているのは、里芋が変異しがたい事を物語るものである。蓋し里芋は熱帯以外に於ては結実することが稀であるから、変異は専ら体細胞に限られるわけである。従つてかゝる変異性の乏しい事は体細胞変異に於ても余り顕著な形質の変化を来さない事を示すという事が出来よう。

5. 摘要 (1)国内、沖繩、朝鮮、中国、台湾、南洋方面より蒐集した品種点数 205 点は 22 品種 39 系統 (1 品種 1 系統のものは 1 系統として算入) に整理することが出来た。

(2) 本邦の品種は子芋に特色がある。

(3) 土垂、蓮葉芋、黒軸、赤芽、唐芋、八ツ頭、水芋、ミガシキ、蕨芋は外地と共通である。一般に変異しがたいものと考えられる。

(4) 石川早生 2 系統、土垂 6 系統、蓮葉芋 2 系統、黒軸 4 系統、蕨芋 1 系統、赤芽 4 系統、唐芋 2 系統、眞芋 1 系統、女芋 2 系統、檳榔心 1 系統、八ツ頭 2 系統、蕨芋 1 系統、笏芋 1 系統、棋山芋 1 系統、水芋 1 系統、ミガシキ 2 系統、ロフト蕃 1 系統、赤口 1 系統、紅檳榔心 1 系統、沖繩青薯 1 系統、蓮芋 1 系統、ヤウテヤ 1 系統を認める。